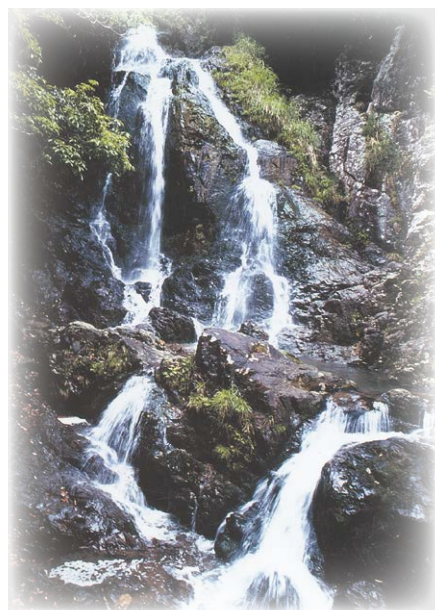




萩市水道事業ビジョン

「安心・安全な萩の水をいつまでも」



概要版

令和2年度～令和11年度

萩市水道事業ビジョン策定の経緯

本市では、将来にわたって安心かつ安定した水道水を供給し、市民とはぐくむ水道事業を継続するために、平成22年3月に「萩市水道ビジョン」(以下「現行ビジョン」という。)を策定しました。

このたび現行ビジョンの計画期間終了を迎え、引き続き安全で安心な水道水の安定供給を図っていくため、現行ビジョンを継承する「萩市水道事業ビジョン」(以下「水道事業ビジョン」という。)を策定しました。

水道事業ビジョンは、水道事業を取り巻く環境の変化や現行ビジョンの達成度評価に加え、これからの水道事業の課題を踏まえた長期的な視点にたって策定したものです。

現行ビジョン

計画期間：平成21年度から平成30年度まで(10年間)

現行ビジョンと水道事業ビジョンの関係

現行ビジョン

萩市水道ビジョン

～市民とはぐくむ萩市の水道～



「萩市中心部の三角州の様子」



平成22年3月
萩市上下水道部

- ① 事業環境の変化
- ② 現行の評価・見直し
- ③ 新たな課題



水道事業ビジョン

萩市水道事業ビジョン

「安心・安全な萩の水をいつまでも」



萩市上下水道局

本市は水道事業ビジョンを計画の骨子として、その具体的な計画をまとめた「水道事業基本計画」を策定しています。「水道事業基本計画」は、厚生労働省が示す計画や萩市が進める計画との整合を図った総合計画となります。

厚生労働省

- 新水道ビジョン
- 耐震化計画
- アセットマネジメント
- 水安全計画

→

萩市水道事業基本計画

←

萩市

- 基本ビジョン
- 地域防災計画

↓

萩市水道事業ビジョン

「新水道ビジョン(厚生労働省)」及び「経営戦略(総務省)」に係る手引きやガイドラインは、計画期間をおおむね10年または10年以上に設定すべきとしています。

計 画 期 間：令和2年度から令和11年度(10年間)
計画目標年度：令和11年度

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12～
水道事業ビジョン	水道事業ビジョン 令和2年度～令和11年度 次期ビジョンに向けた改定期間										次期ビジョン

前回ビジョンのフォローアップ

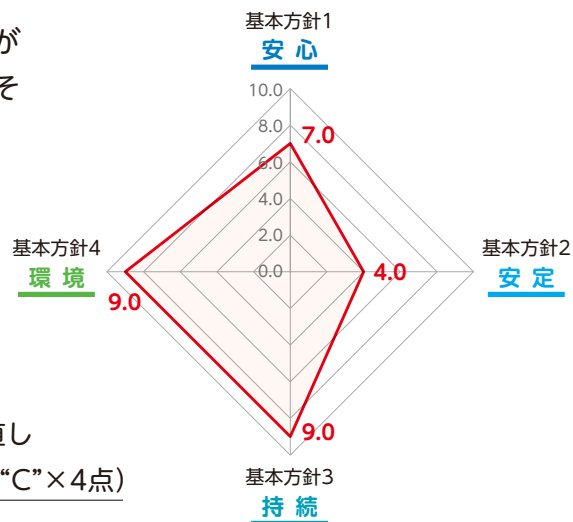
4つの基本方針に基づく評価結果より、方針2の達成状況が4.0ポイントと低く、耐震化の推進が求められる状況です。その他の方針の達成状況は比較的良好です。

工程・内容見直しとなる施策は以下のとおりです。

- 方針1 クリプトスポリジウム対策
- 方針2 水道施設及び管路施設の更新と耐震化
- 方針3 全市料金統一体系の確立
- 方針4 なし

〈評価基準〉完了、A:計画通り、B:工程見直し、C:内容見直し

〈達成度算定式〉達成度 = $\frac{(\text{完了} \times 10 \text{点} + \text{A} \times 8 \text{点} + \text{B} \times 6 \text{点} + \text{C} \times 4 \text{点})}{\text{施策数}}$



- 方針1 **安心** 水質事故ゼロを目指し、さらに清浄でおいしい水を供給する水道事業
- 方針2 **安定** いつでも豊富な水を供給し、災害に強い水道事業
- 方針3 **持続** 強固な経営基盤に支持され、効率的な施設維持・更新・レベルアップを行う水道事業
- 方針4 **環境** 省エネルギー化やリサイクル推進により、環境にやさしい水道事業

水需要の見通し

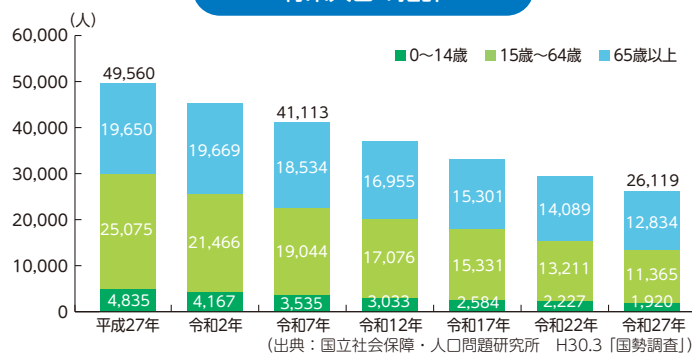
本市の人口は46,691人、世帯数は23,349世帯です。(R1年9月末現在)

本市では、少子高齢化が進み、年少人口、生産年齢人口が減少し続けており、若者の都市部への流出状況を加味すると、今後の人口はさらに減少するものと見込まれます。

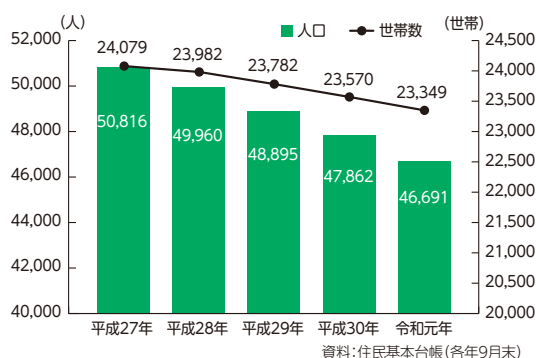
人口の減少は水道事業にとっては料金収入につながり、厳しい経営状況が続いていきます。

給水量の推移では一日平均給水量、一日最大給水量ともに減少傾向となっており、令和9年度までに約20%減少の見込みとなっています。

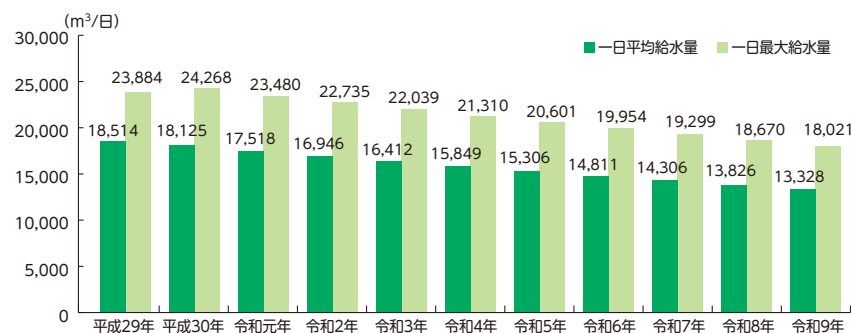
将来人口の推計



本市の人口と世帯数の推移



将来給水量の推計



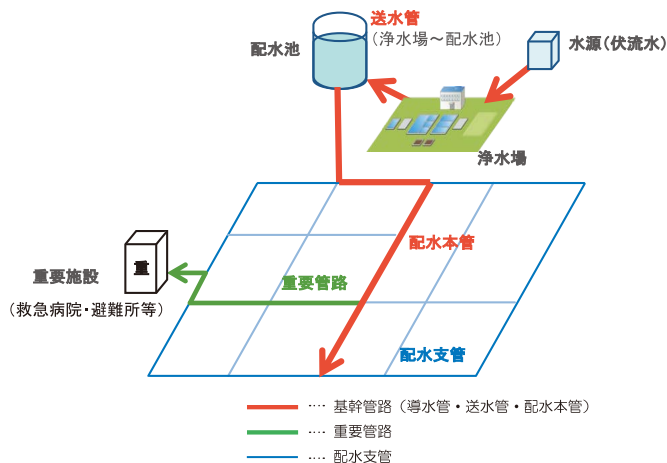
水道施設の現状

水道事業は、昭和12年に給水を開始し、古くなった水道施設や管路の更新を行っています。管路施設は、すでに1960～70年代の高度成長期に布設したものが更新期を迎えています。管路の総布設延長は約670km、法定耐用年数を経過している管路は約110kmあり、漏水の原因となっている鑄鉄管の更新は喫緊の課題となっています。一方、近年では日本中のいたるところで、大きな地震が発生しています。

施設・管路の耐震化には多大な費用を要することから、前回ビジョンで示された目標達成が出来ていない状況です。

このような状況のもと、更新を進めていくことが必要な時代を迎えていることから、これらの更新にあわせて耐震化を4～5km/年のペースで進めていきます。

基幹・重要管路のイメージ



管路耐震化(更新)事業スケジュール

(単位: km/年)

管路区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
基幹・重要	計画設計	2.1	2.0	1.8	1.9	1.9	1.8	2.2	2.3	0.8
配水支管	2.9	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
計	2.9	4.3	4.2	4.0	4.1	4.1	4.0	4.4	4.5	3.0

給水サービス

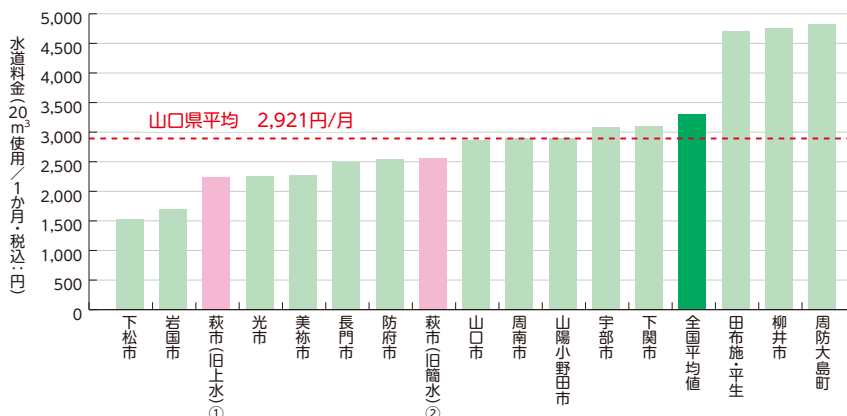
本市の水道料金は、2つの体系が並列している状況です。前回ビジョンにおいて料金統一体系の確立が目標とされていましたが、達成できていない状況です。

一般的な家庭で水道水を口径13mmで1か月に20m³使用した場合に必要な料金を、全国平均値、山口県内15水道事業における料金とともに示したものです。山口県内の料金、全国平均値と比較しても本市の水道料金は安価な水準となっています。

今後は市内全域の料金体系の統一に向けた検討を行うとともに、減少する給水収益や増大する更新費用などを見据えながら、適正な水道料金水準についても検討を行う必要があります。

水道料金の比較

(R2.4.1 現在)



※萩市(旧上水)①:萩地域(大島・相島・見島・三見・三見市・木間地域及び大井地区の一部を除く)
 ※萩市(旧簡水)②:田万川・むつみ・須佐・旭・福栄・川上地域及び萩地域の一部(大島・相島・見島・三見・三見市・木間地域及び大井地区)

20m ³ 使用時の料金(円)	萩地域①	2,233
	萩地域②	2,563

目標設定

	項目名称	現 状 (平成29年度)	目 標 令和6年度 (5年後)	目 標 令和11年度 (10年後)	全国の 分布中央値	目標の内容
安全	クリプト等による断水措置	0	0	0	—	現状維持
	鉛製給水管率	26.0	21.0	16.0	0	≒10ポイント低下
	水源の水質事故数	0	0	0	0	現状維持
強 靱	幹線管路の事故割合	0	0	0	0	現状維持
	管路の事故割合	0	0	0	0	現状維持
	配水池耐震施設率	4.7	37.4	45.1	43.1	耐震化(更新)
	管路の耐震化率	11.6	14.3	17.6	8.8	耐震化(更新)
	基幹管路の耐震化率	21.4	25.5	32.4	16.6	耐震化(更新)
	災害対策訓練実施回数	2	2	2	1	現状維持
持 続	経常収支比率	111.9	100%以上	100%以上	111.4	現状維持
	法定耐用年数超過設備率	45.6	50.0	50.0	43.5	現状維持
	法定耐用年数超過管路率	14.6	25.4	30.5	12.1	更新による超過率の抑制
	漏水率	18.3	13.3	8.3	3.9	≒10ポイント低下
	建設副産物のリサイクル率	99.6	99.6	99.6	35.6	全量有効利用化

具体的に推進する実現方策

重点施策	施策	推進する実現方策
安全	水質管理の強化	クリプトスポリジウム等対策の実施
		鉛製給水管の解消
		水安全計画の策定
強 靱	施設・管路の耐震化と更新	施設の統廃合を踏まえた耐震化と更新
		基幹管路の耐震化と更新
	危機管理体制の強化	危機管理マニュアルの見直しや危機事象の拡大
		相互応援体制の強化
持 続	老朽化施設の更新	機械・電気設備の保全
		管路漏水の抑制
	持続可能な事業経営	広域監視体制の拡充
		健全な事業経営
		官民連携及び広域化の推進検討
	給水サービスの向上	適正な水道料金水準の検討
		情報提供の拡充
	リサイクルの推進	建設副産物の有効利用

財政計画

事業計画で試算した事業費を基に、計画期間における財政収支シミュレーションを行います。財政収支シミュレーションを行うにあたり、持続可能な経営に向けて、水道料金、自己資金、企業債のバランスを図ることが必要となるため、次のとおり目標を設定しました。

- 収益の確保 安定した持続可能な水道事業を運営するため、適正な時期に水道料金改定について検討していきます。
- 企業債の適正な借入 企業債の借入にあたっては、大規模事業となる上野配水池更新工事等期間を除き、既存の元金償還金内の借入を基本として、将来的な企業債残高の増加を抑制します。
- 内部留保資金の確保 水道施設の老朽化対策や耐震化対策等の投資や非常時等における資金確保を目的として、年間給水収益程度の内部留保資金を確保します。

財政収支表(令和2年度～令和11年度)

収益的収支(消費税抜き)

(単位: 千円)

	決 算	決算見込み	決算見込み	将来見通し								
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収益的収入	1,124,243	1,091,994	1,085,000	1,085,423	1,059,207	1,034,141	1,007,489	988,951	963,162	938,868	916,174	904,623
給水収益(料金収入)	670,651	650,485	639,100	630,354	615,248	601,889	586,783	572,051	558,317	544,834	532,724	522,112
その他営業収益	10,210	13,379	13,344	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
長期前受金戻入	162,152	161,225	152,678	149,841	146,126	139,167	130,491	126,441	123,790	121,793	118,127	115,810
他会計補助金	230,839	224,061	231,365	243,428	236,033	231,285	228,415	228,659	219,255	210,441	203,523	204,901
その他営業外収益	50,391	42,844	48,513	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500
収益的支出	1,071,743	1,057,059	1,070,200	1,083,923	1,075,207	1,068,141	1,070,689	1,106,451	1,103,362	1,104,668	1,104,274	1,108,823
人件費	186,972	184,904	190,581	191,700	192,200	193,900	195,000	196,100	196,600	197,800	199,400	200,600
維持管理費	319,096	316,872	315,935	315,633	315,209	315,008	314,653	314,415	314,254	314,168	314,732	315,439
支払利息	68,888	64,412	60,406	60,183	58,168	58,356	61,806	63,506	62,750	60,897	59,301	59,476
減価償却費	449,157	455,305	466,878	472,016	464,832	455,444	452,881	486,399	485,451	486,102	485,808	490,334
資産減耗費	46,198	34,251	35,258	44,228	44,686	45,342	46,214	45,892	44,205	45,628	44,885	42,908
その他	1,432	1,315	1,142	163	112	91	135	139	102	73	148	66
利益または損失	52,500	34,935	14,800	1,500	-16,000	-34,000	-63,200	-117,500	-140,200	-165,800	-188,100	-204,200
繰越利益剰余金	543,596	578,531	593,331	594,831	578,831	544,831	481,631	364,131	223,931	58,131	-129,969	-334,169

資本的収支(消費税込み)

(単位: 千円)

資本的収入	366,230	368,478	508,372	438,687	660,655	951,385	741,484	496,906	365,677	360,316	524,422	318,475
企業債	236,500	229,000	353,300	320,000	543,600	836,800	633,700	392,900	266,200	277,600	446,100	255,800
他会計出資金	89,827	97,984	115,744	116,332	115,910	113,440	106,639	102,861	98,332	81,571	77,177	61,530
他会計負担金	860	0	880	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145
その他	39,043	41,494	38,448	1,210	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出	637,223	620,127	745,856	834,090	1,118,076	1,489,048	1,234,542	948,704	798,635	789,171	998,382	734,560
建設改良費	382,525	348,780	433,121	510,677	788,863	1,155,422	901,481	600,673	442,047	456,281	667,102	429,076
企業債償還金	254,698	271,347	312,735	323,413	329,213	333,626	333,061	348,031	356,588	332,890	331,280	305,484
資本的収支	-270,993	-251,649	-237,484	-395,403	-457,421	-537,663	-493,058	-451,798	-432,958	-428,855	-473,960	-416,085
収支不足補填額	270,993	251,649	237,484	395,403	457,421	537,663	493,058	451,798	432,958	428,855	473,960	416,085
補填財源不足額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債未償還残高	4,413,481	4,371,134	4,411,699	4,408,286	4,622,673	5,125,847	5,426,486	5,471,355	5,380,967	5,325,677	5,440,497	5,390,813

